

特集 子育てを支える保育士

仕事などにより、家庭で子どもの保育ができない保護者に代わって、0歳児から小学校就学前までの乳幼児を保育する保育士。衣服の着替えや食事の仕方などの基本的な生活習慣が身に付くように援助したり、遊びや集団生活を通して、心身の発達を促したりと重要な役割を果たしています。

今回の特集では、本市の子育てを支える保育士の仕事に密着しました。普段は見ることのできない保育士の仕事ぶりや魅力、本市で働く保育士を支援する補助制度などを紹介します。



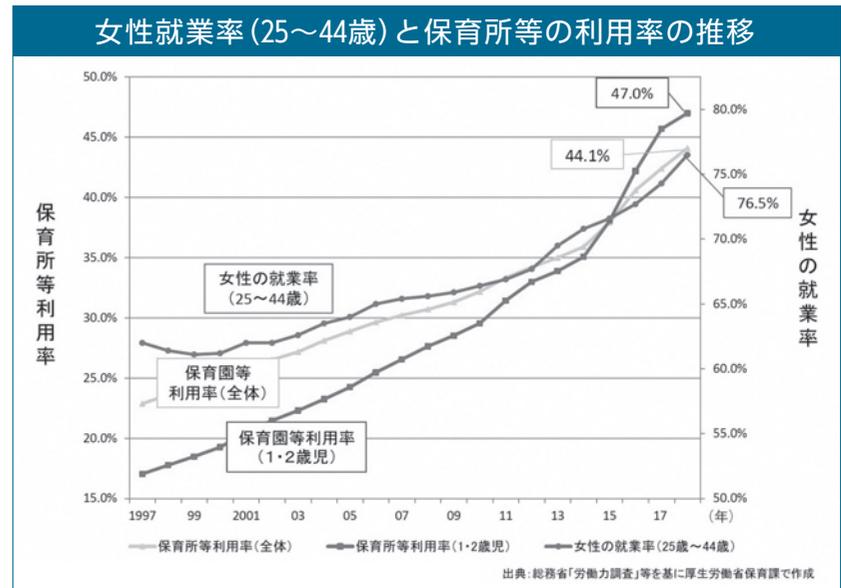
絵本の読み聞かせの様子(三城幼保園)

本市の保育の現状

近年は、全国的に少子化が進む一方で、25～44歳女性の就業率上昇を背景として、保育所などの利用率が上昇しています。特に1・2歳児の利用率はここ20年で約2.5倍となっており、保育需要は今後も高まると考えられます。

本市では、育児休業退園制度の運用を見直すなど、子育て支援環境の充実に努めるとともに、保育現場についてのあり方を検討する自主研修グループ「保育・幼児教育課題研究会」を設立し、保育の質の向上に努めています。また、現在は保育人材の確保が課題となっており、保育者確保に向けた取り組みとして、市内で働く保育者を応援する「保育士確保推進事業補助金」「保育者スタート応援事業補助金」や、保育者の具体的な仕事内容などについて紹介する「保育のしごとパネル展」の開催などを行っています。

今後も保育者を対象とした研修会や保育者確保の支援策などを実施し、保育の質の向上や働きやすい環境づくりに努めていきます。



保育士の日

子どもたちが笑顔で、健やかに育つように日々の保育に取り組む保育士の皆さん。今回は、三城幼保園3歳児クラスの日を紹介いたします。

7:00～ 早朝保育・登園



子どもたちを出迎えます。子どもの様子を見て、体調や機嫌を確認します。保護者ともコミュニケーションを取り、家庭の様子などについて話を聞きます。

9:00 遊びの時間



元気いっぱい体を動かして遊びます。やりたい遊びを見つけられるように環境をつくり、子どもたちの自主性を大切にしつつ、みんなで遊ぶようにしています。

11:30 給食



子どもたちが楽しみにしている給食の時間。支度を整え、一人一人に応じた量を配膳します。給食を通じて、「食」に興味や関心が持てるようにします。

13:00 お昼寝



寝ている向きや呼吸に注意し、子どもたちが安心して眠れるように寄り添います。お昼寝中には、保育の打ち合わせや保育に必要な制作物の作成などを行います。

15:00 おやつ



お昼寝の後は、子どもたちが大好きなおやつタイム。保育士も子どもたちと一緒にいただきます。おやつでホッと一息、パワーアップで午後も楽しく過ごします。

～16:30 降園



園での1日を終えた子どもたちを見送ります。保護者への連絡事項など、直接伝えることも大切にしています。明日も元気に登園できるように大きな声で「さようなら」。

～18:30 延長保育



保護者が仕事の都合などで時間内のお迎えが難しい場合は、延長保育の部屋で、異年齢保育を行います。友だちと一緒に安心してお迎えを待てるようにします。

子どもたちが帰った後は…



一日を振り返る保育日誌や保育計画を書いたり、職員同士で情報共有を行ったりしています。また、教室の清掃やおもちゃ消毒など、感染症対策にも気を配ります。